



友達同士で協同的に取り組む場面を多く設定している。また、地域の素材を使った学習内容にすることで、地域への誇りや愛着を持ち、そこから世界へつながっていけるようになることを期待している。

#### 【各学年の実践例】

(6年 総合的な学習の時間「岩美の昔 100人に聞きました」)

鳥取県立博物館付属山陰海岸学習館専門員や地域の方に話を聞きながら、地域にあるジオパークの自然・地形・学校の今と昔を比べて、それぞれのよさや特色について学習した。調べたことや、地域の特色を生かした学校教育や子どもたちへ期待する思いをまとめて学習発表会で発信し、地域の一員として積極的に地域を大切にしようとする心情や態度を育てた。

(5年 総合的な学習の時間「岩美オリジナルグルメをつくろう」)

校区内の田んぼでの田植え体験をしたり、田後漁港で漁師の方の話を聞き、地域の水産物について学んだりした。また岩美町の特産物(いわみ八宝)についても調べ、岩美町のよさをさらに多くの人に知ってもらうために、いわみ八宝を使った新しいメニューを開発・調理し、学習でお世話になった方々を招待して試食した。また、給食センターにメニューを提案し、実際に給食の献立として採用された。

(4年 総合的な学習の時間「岩美の宝発見」)

鳥取県立博物館付属山陰海岸学習館専門員とともに、浦富海岸の地質・地学・生物学的な価値を学び、自分たちの住む町のすばらしさを再認識し、自分たちの町の宝を伝えるために、CMづくりをしたり、掛け軸(絵)に表したりした。宿泊学習では、シュノーケルを使って海の生きものを調べたり、田後漁港で釣り体験やするめづくりを行ったりした。また、防災学習としてダンボールハウスを作り、そこで宿泊したり、ハイゼックスでの炊飯や救命救急法を学んだりするなど、災害に遭遇した時の心構えや実際の活動を研修・体験した。

(3年 総合的な学習の時間「わたしのまち 岩美町」)

鳥取県立博物館付属山陰海岸学習館に行き、専門員の話聞きながら、ジオパークの生きものや自然文化のすばらしさを再認識し、自分たちの住む場所を大切にしようとする心情と態度を育てた。また、地域にある「コスモスロード」の種まき、草取り、水やり、看板づくりなどに参加し、地域の自然を守っている人の気持ちを知る体験をした。

(2年 生活科「花や野菜を育てよう」)

地域の方に教えていただきながら、野菜や花を育てる活動を通して、地域や食物に親しみを持ち、積極的に関わることができた。

(1年 生活科「みんななかよし」)

身近な自然や生き物、人に関心を持ち、遊びや飼育、保育園児や地域の方々との交流を通して、親しみを持ち、大切にできるようにした。

【特別活動、その他】

- ・津波を想定した避難訓練の実施（防災）
- ・クラブ活動での和太鼓文化伝承（伝統文化）
- ・浦富海岸での砂浜マラソン、砂の像づくり、遠泳（環境）
- ・栄養教諭による年間を通じた食育指導（食育）
- ・3，4年生と外国人との交流「英語村」（国際理解）
- ・3年生と盲導犬ユーザーとの交流（平和、人権）
- ・4，5年生によるサケの孵化、稚魚の飼育（生物多様性）

【今年度の成果と課題】

本年度も、本校の特色である山陰海岸ジオパークに関わる自然、文化、食育などを教材にして、地域の人々の協力を得ながら、様々な観点で学習を深めていくことができた。そして、子どもたちが地域のよさを知り、地域を愛する心を育てることができた。今後は、グローバルなネットワークを活用し、他の学校との交流をしたり、地球規模の諸問題に対処できる行動力を育成したりするための取り組みを模索していきたい。

2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）